

要請番号 (JL22418A35)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|---------|--------------------|------|------|----|------|-----------------------|
| ドミニカ共和国 | E102 再生可能・省エネエネルギー | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2018/3・2018/4・2019/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

高等教育・科学技術省

2) 配属機関名（日本語）

イサ大学

3) 任地（サンティアゴ県サンティアゴ市） JICA事務所の所在地（サントドミンゴ特別区）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

同大学は北部農村の地域振興を目的として、1962年に設立された農業高等専門学校を前身として、1986年に設置された。現在は農業に焦点を当てた実践的な研究教育機関として、生徒数約2,300人、教員・職員406人を有する。2015年度の予算は約660万USドル。同大学では気候変動に起因する課題に対応すべく、再生可能エネルギー研究室を設置し、2013年にドイツからの機材供与、専門家派遣が行われた。またJICAは同大学を実施機関とした技術協力「PROAMOH」(対ハイチ農業技術研修コースプロジェクト)フェーズII(2016-2020)を実施している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

活動先となる再生可能エネルギー研究室は食糧生産・環境学部天然資源学科に所属し、ドイツから供与された機材を中心的に、代替エネルギーとしての研究が行われている。すでに同分野は環境管理学科の必須教科、また農学課では選択教科として研究が進められ、ガス化やバイオディーゼルについての論文も発表されている。再生可能エネルギーの研究プログラムでは概論、水力、風力、太陽光、バイオマス、地熱などの基本的な知識を中心としたプログラムがあるが、今回このカリキュラムの確認と改善が求められ、ボランティアの要請となった。また、今後ドイツの援助でカリブ地域へのインターネットを通じた遠隔教育や、バイオエネルギーを利用した水産養殖の研究等も計画されており、更なる研究室内の知識の向上が求められている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

再生可能エネルギー研究室にて、C/Pとともに以下の活動を行う。

1. 研究カリキュラムについて、コンセプトや実習機材なども含めた計画見直しへの助言。
2. 研究チームとしての調整・作業計画の作成。
3. 再生可能エネルギープロジェクトへの提案と開発に向けたサポート。
4. エネルギー問題の解決に向けた研究活動へのサポート。
5. 研究室内にある実験装置の有効活用に向けたサポート。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ガス化キット(Allpowerlab,TOTTIIV)、ガス分析器(Wuhan,3100P)、バ"イオ" -ゼルフ"ロセッサ-70G(Turner),木片裁断機、机、事務用品

4) 配属先同僚及び活動対象者

責任者:食糧生産・環境学部部長:男性、50歳代

C/P:再生可能エネルギー研究室担当:男性、20歳代、電気機械科卒、在籍3年
同僚2名:男性1名、ドイツからのボランティア1名(毎年1名が同席)

対象学生:18-25名/年(農学、環境マネージメント等の専門課程)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : (大卒) 工学 備考: 専門性を持つ同僚と活動するため

[性別] : () 備考 :

[経験] : (実務経験) 2年以上 備考: 活動上必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (熱帯雨林気候) 気温 : (18~35°C位)

[電気] : (不安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水源] : (不安定)

【特記事項】

配属先では1.バイオエネルギー(バイオガス)、2.ガス化、3.風力の順で研究を進めたい方針であるが、その他分野でも良い。インターネット・電気・水道などのインフラサービスは常時安定しているわけではない。

【類似職種】